

2023年度

履修ガイド

湊川短期大学

はじめに

高等学校までの学習は、必要と思われる知識や技術を教員が選択し、生徒に伝えることが中心で、生徒には、教えられたことの修得が望まれます。

大学での学修は、自分の目標にとって必要であると考えられる内容を自ら選択し、必要な授業の履修登録を行い、授業の内容、教員の指導から、主体的な学修によって、知識や技術、考え方を磨いていくものです。すなわち、「教えられる」から「自ら学ぶ」態度への変化と云っていいでしょう。また、学生生活の全ては自己管理が期待されます。

この『履修ガイド』は、「自ら学ぶ」「自己管理」の助けとなるよう編集しました。

学修全般に関する様々な情報を解説しています。間違いなく卒業するために、どれもが重要な項目です。入学オリエンテーションでは各々を確認していきますが、その後も試験や成績発表の時など、必要に応じて参考にしてください。

『シラバス（授業計画）』では、各授業科目のねらい、1回1回の授業の内容、使用するテキストや参考書等、成績評価の観点や方法などが書かれています。よく読んで、短期大学生として基礎的に修得すべき教養や、専門の持つ特色をよくつかんでください。そして、関連する授業科目のつながりをとらえるようにしてください。また、授業に参加するだけでは不十分ですので、予習や復習、課題への取り組みといった主体的な学修が必要となります。『シラバス（授業計画）』を「自ら学ぶ」学修の手がかりとしていただきたいと思います。

編集担当者

目 次

1 履修について	4
2 大学の授業について	5
3 特殊教室などの使い方	8
4 学修成果	9
5 成績評価について	10
6 GPA による評価と指導について	12
7 他学科の授業科目履修について（開放科目）	14

人間生活学科

教育課程・開講予定	16
コースと各種資格について	18
履修登録・成績発表・実習などのスケジュール	20
人間生活学科での履修において特に注意する点	22

幼児教育保育学科

教育課程・開講予定	26
履修登録・成績発表・実習などのスケジュール	28
幼児教育保育学科での履修において特に注意する点	30

専攻科 健康教育専攻

教育課程・開講予定	34
学位記を手にするまでのスケジュール	35
専攻科 健康教育専攻での履修において特に注意する点	36
カウンセリング実務士科目について	37

専攻科 生活福祉専攻

教育課程・開講予定	40
履修登録・成績発表・実習などのスケジュール	41
専攻科 生活福祉専攻での履修において特に注意する点	42

ここでは、湊川短期大学で学修するために、大切な情報をあげています。
よく読み、参考にできるようにいつも手元に置いて、間違いなく短大生活を送ってください。

大学からの連絡（掲示板）

- ・ 大学からの連絡事項は、すべて掲示によって行います。
- ・ 一度掲示したものについては、学生全員に連絡したものとみなします。掲示を見なかったためにおこる不利益は、本人の責任になります。
- ・ 連絡事項に関する疑問点やよくわからない点は、教務学生課窓口^①に直接問い合わせてください。
- ・ 電話による問い合わせは原則として、受け付けていません。

**大学に来たら必ず
掲示板をすべて確認するように
習慣づけてください**

掲示板の場所 本館1階玄関

毎日、朝・夕2回掲示の確認！

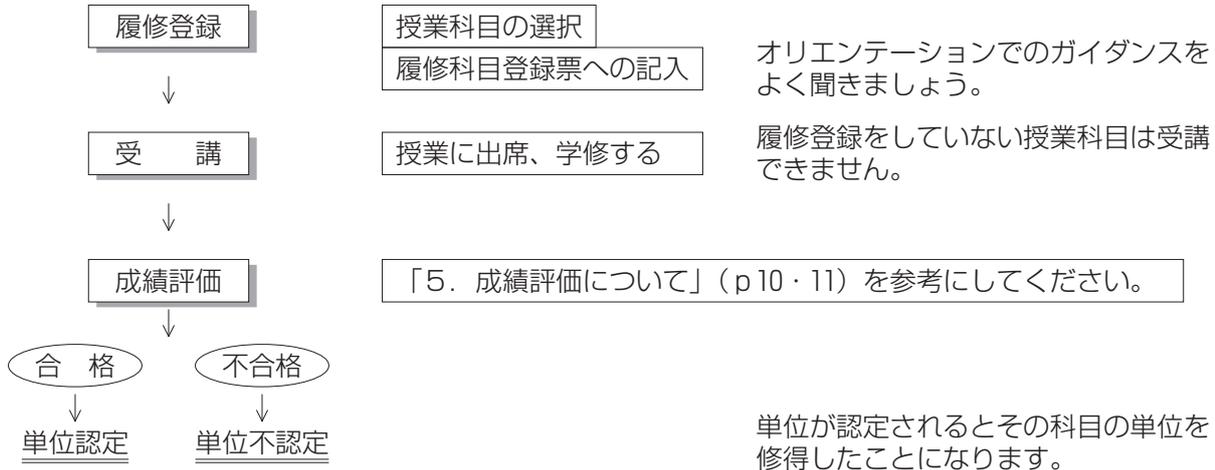
1. 履修について

——— 大学における学修は、「単位制」が採用されています。 ———

1 単位制とは

大学で開講されている授業科目は、科目によってそれぞれ単位数が定められています。これらの授業科目を「履修」して合格することによって、その科目の単位が「認定」されます。このようにして、卒業や免許・資格に必要な単位を修得する制度のことです。

「履修登録」から「単位」の「認定」まで



2 教育課程（カリキュラム）とは

その学科や専攻科の教育方針に基づいて、系統的な学修ができるように組み立てたものが「教育課程」で、本書に掲載してあります。

3 授業科目の選択

皆さんは、所属する学科や専攻科のカリキュラムの中から、卒業や取得したい免許・資格に必要な授業科目、また、自分の興味にあった授業科目を選択してください。授業の内容等が詳しく書かれている『シラバス（授業計画）』は、大学のホームページ（カリキュラム→シラバス（授業計画）を検索）から閲覧できます。

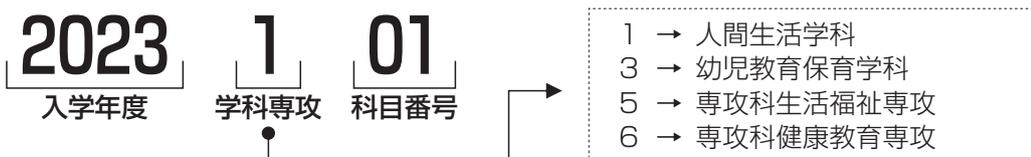
授業科目の選択に当たっては、各学科で行われるオリエンテーションに参加し、本書と『シラバス（授業計画）』を十分に活用して、注意深く行うようにしてください。

ただし、受講人数が5名に満たない場合は授業を開講しないことがあります。

4 講義コードの見方

各授業科目に割り当てられた番号のことで、どの学科・専攻科の授業科目なのかが分かるようになっています。『シラバス（授業計画）』の閲覧・検索の際に参考にしてください。成り立ちは次のとおりです。

講義コード例：2023101



5 履修科目登録票への記入

履修科目登録票はマークシートになっています。選択した授業科目のところに間違いなくマークをしてください。履修登録をされていない科目は、たとえ授業を受けても単位は認定されませんので、注意してください。履修登録が正しくできたかどうかを確認する機会が一度あります。

2. 大学の授業について

大学の授業は、高等学校までとは異なるところが多いので、よく確認してください。

1 前期と後期

1年の学修期間を「前期」（4月1日～9月下旬）と「後期」（9月下旬～3月31日）の2学期に分けて授業を行っています。

2 授業時間

授業は、講義・演習科目においては、90分で行われます。

実験・実習科目においては、90分もしくは135分で行われます。

3 教室の表示

教室の表示は、次のようになっています。

〔本館〕…【2桁目が0】

【401】 → 4階 1号教室

〔1号館、2号館、3号館、5号館〕…【2桁目が0以外】

【121】 → 1号館 2階 1号教室

*各館についての詳細は、キャンパスの略図（p6・7）を参考にしてください。

4 休講について

「休講」とは、大学や授業担当者にやむを得ない事情が生じたために授業を行わないことをいいます。

「休講」になった授業は、他の日時に「補講」を行います。

- ・休講は、事前に本館玄関の掲示板に掲示されます。授業担当者の病気等により当日掲示される場合もあるので、毎日確認するようにしてください。
- ・休講は、大学のホームページ（在学生の方へ→臨時休講のお知らせ）にも掲載しますが、詳細は本館玄関の掲示板で確認してください。

－非常事態発生時の臨時休校措置について－

三田市に気象警報のうち大雨、洪水、暴風、大雪、暴風雪のいずれかの警報が発表された場合

時 間	事 情	措 置
午前7時	気象警報が発表されている場合	「午前」休校措置
午前10時	気象警報が発表されている場合	「午後」休校措置

（注意）・すでに多くの学生が登校している場合は、学長の指示に従うこと。

・その他の非常事態が発生した場合は、学長の指示に従うこと。

5 「補講」、授業日時・教室などの「変更」について

- ・「補講」、授業日時・教室などの「変更」は、事前に本館玄関の掲示板に掲示されます。急な変更が生じる場合もありますので、毎日確認するようにしてください。

6 欠席について

原則として授業の欠席は認められません。

〔公欠の取り扱いについて〕

次の理由による欠席は公欠と認め、欠席としても、出席としてもカウントされません。

公欠の取扱いを受けようとする者は、公欠願（理由を証明できる書類を添付）を事後1週間以内に教務学生課に提出してください。

- ・ 3親等以内の死亡（忌引き）

（公欠日数）1親等（父、母）－5日、2親等（祖父母、兄弟姉妹）－3日、3親等（曾祖父母、伯叔父母）－2日 ※休日を含めた連続する日数

- ・ 出席停止の感染症（インフルエンザ等）

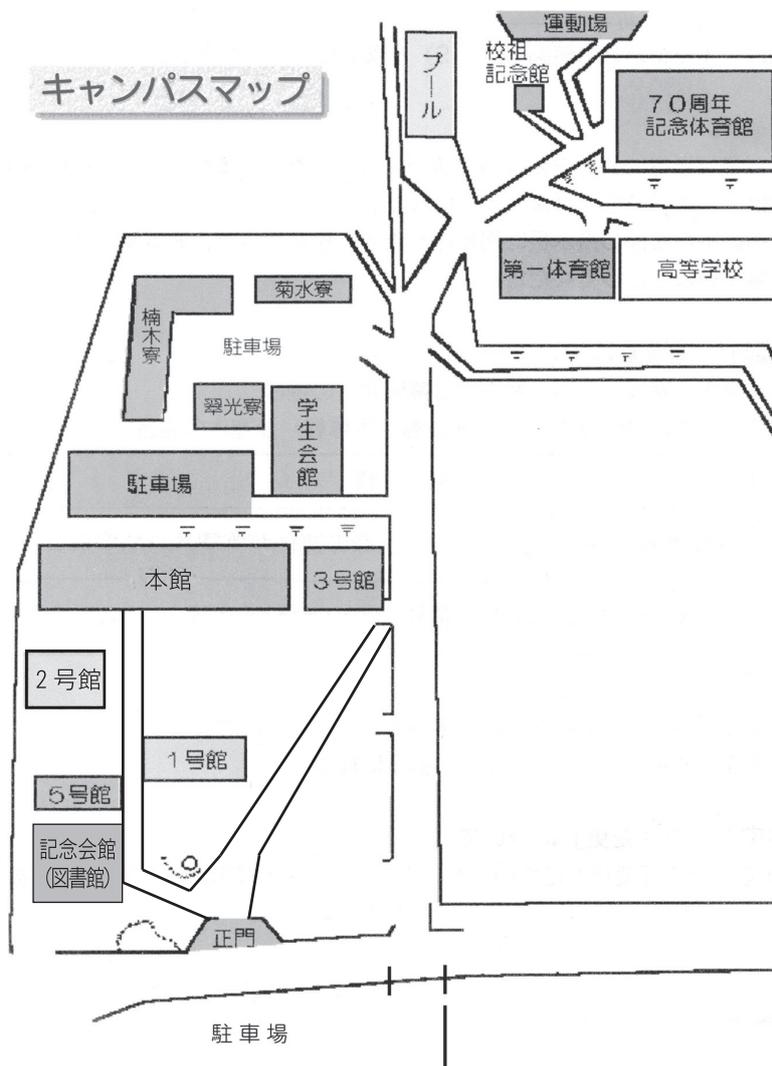
（公欠日数）学校保健安全法施行規則に定める期間

7 オフィスアワー（教員への相談の時間）

各専任教員は、学生の授業などについての質問や相談には、授業や会議等以外の時間の許す限り、いつでも対応していますが、「オフィスアワー」という特定の時間帯を設けており、学生は基本的に予約なしで研究室を訪問することができますので、気軽に訪ねてください。

各教員の「オフィスアワー」の時間帯は、教務学生課の掲示板で確認してください。

○非常勤講師は、授業を実施する時間帯のみ大学に來ていますので、基本的に授業終了後に教室で授業についての質問や相談をしてください。



湊川短期大学

教室配置

1号館

(151) E. M. L教室	(152) 研究室	給湯室	EV
(141) ピアノレッスン室		給湯室	
(131) ラーニング・commons	ピアノレッスン室	給湯室	
(121) 音楽室	(122) 研究室	給湯室	
作業室		倉庫	

2号館

(236) 倉庫	会議室
226	
地域子育て支援センター	

3号館

(352) 研究室	(351) 図工室
(342) 研究室	看護実習室
(332) 研究室	調理実習室
(322) 研究室	理化学実験室
EV	学生ロッカー

記念会館 (図書室)

倉庫等	図書館(書庫)
図書館(閲覧室・書庫)	
図書館(閲覧室)	
同窓会館	学生相談室

5号館

533	(532) ラーニング・commons	(581) 研究室
(522) 介護実習室	(521) 準備室	
(512) 学友会室	(511) 入浴実習室	

学生会館

集会室	作法室
学園食堂	食堂売店

本館

4F

男性トイレ	(4LC1) 協働の緑創	(4A) 研究室	(4B) 研究室	402
女性トイレ	(401) 大教室	(4LC2) ラーニング・commons	(4F) 研究室	(4C) 研究室
(40S) 倉庫		階段	(4E) 研究室	(4D) 研究室
(4G) 非常動講義室		階段	EV	(4C) 研究室
404				
403				

3F

(306) OA教室	(301) 男性トイレ	(302) 保育室	(303) リズムスタジオ
	多目的トイレ	保育教材研究室	
	女性トイレ		
		3LC1 井戸端commons	
305	(3H) 研究室	(3G) 研究室	(3A) 研究室
	階段	(3F) 研究室	(3B) 研究室
	EV	(3E) 研究室	(3C) 研究室
		(3D) 研究室	304

2F

(207) 倉庫	女性トイレ	(2A) 研究室	201
	男性トイレ	2LC1 ラーニング・commons	202
206B			
206A	(2D) 研究室	(2C) 研究室	203
	階段	EV	(204) 保健室
		205A	
		205B	

1F

法人事務局 (総務課・総務課・会計課)		短大事務局 (総務課・教務生課)	
階段	EV	階段	EV
		エントランス	キャリア教育センター 地域連携センター

3. 特殊教室などの使い方

1 ラーニング・commons

- ① 本館2階（2LC1）
 - ・アクティブ・ラーニングを中心とした、学生の主体的な学びの場です。
 - ・個人またはグループによる学修に使用してください。
 - * 予約不要で自由に利用できますが、予約が入っている場合は予約を優先します。
 - * 予約は、「施設設備使用願」に必要事項を記入して教務学生課に提出してください。
- ② 本館4階（4LC2）
 - ・本学学生が自由に利用できるスペースです。
 - ・パソコンを設置しています。使用は自由ですが、掲示されている使用条件を守って利用してください。
 - ・パソコンに不具合が生じたときは、教務学生課まで知らせてください。
 - ・利用は、午後8時までです。
 - ・スペースの美化に努めてください。
 - ・以上のことを守れない場合は、利用を一時制限することもあります。

2 OA教室（本館3階306教室）

- OA教室のパソコンは、授業や卒業研究指導などで使用していない時間帯において、利用することが可能です。
- ・原則として授業の予習／復習、授業の課題作成、卒業研究などを目的とした利用に限ります。
 - ・利用時間は、午後8時までです。
 - ・退室の際は、パソコンの電源、エアコン、照明などを必ず消してください。
 - ・教室内での飲食は厳禁です。

4. 学修成果

大学では、授業その他の活動で学修することになりますが、学修で得られる力や内容について示すものが【学修成果】です。湊川短期大学では、学科ごとに学修成果を設定しています。

学修成果	
人間生活学科	幼児教育保育学科
以下の知識・技術・能力・態度を学修成果とする。 ① 社会性と人権意識をもち、人と協調して課題解決に当たることができる ② 医療、教育の職に求められる基礎的な知識や技能を修得し、それを現場で活かすことができる ③ さまざまな年齢の人に対して、相手を尊重して接しようとする態度を有する ④ 支援を必要とする人に必要な援助方法を見つけ、行動しようとする態度をもつ ⑤ よりよい援助を行うために、自らを高め努力しようとする姿勢をもつ ⑥ 地域を支える社会人としての使命感と責任感を有する ⑦ 自分のこれからの人生に対する計画的で前向きな態度を有する	以下の知識・技術・能力・態度を学修成果とする。 ① 地域の幼児教育・保育に携わる使命感と責任感を有する ② 仲間と協同しながら、修得した知識・技術を活かした社会貢献ができる ③ 子どもの成長・発達に向き合うことができる ④ よりよい幼児教育・保育のために努力することができる ⑤ 自らの人生について目標を持ち、目標の実現に向けて努力することができる

5. 成績評価について

1 成績の評価

成績評価は、学修成果の獲得に向けた学修全体の過程を評価します。そこで、授業内での小テストや授業への取り組み姿勢、レポートなど、授業科目の特性に応じて総合的に評価します。したがって、各授業科目によって方法が異なりますので、『シラバス（授業計画）』にある「単位認定の方法及び基準」で確認しましょう。

※注意

- ・ 成績の評価を受けることのできる科目は履修登録を行った科目に限ります。
- ・ 学費未納者は評価を受けることができません。

2 レポート・作品等について

レポート・作品等によって成績を評価する場合があります。授業時間に授業担当者から指示がある場合と、掲示によって指示のある場合があります。提出の様式、提出の場所・日時をよく確認して、間違いのないように提出してください。

3 試験について

【試験】

「試験」とは、成績評価を目的として、教科目履修規程に示す要領（第2章第3・4条）に基づいて行うものを指します。したがって「試験」は授業としての学修活動には含まれませんので、授業時間外の「補講・試験日期間」に行います。授業の一環として行う小テストなどとは区別されるものです。詳しくは、担当教員から指示されますので注意してください。

【追試験】

「追試験」とは、以下のやむを得ない理由により、課題を提出できなかったなど授業時間内に成績評価の条件が整わなかった場合や、「試験」を欠席した場合に行われる特別な「試験」です。筆記試験の他、レポートなどの適切な方法によって行う場合があります。

- (1) 3親等以内の死亡、(2) 病気、(3) 教員採用試験、就職試験、(4) 交通事情、(5) 災害又は不慮の事故、(6) その他やむを得ない理由

以上に該当する場合は、理由を証明できる書類を添えた「追試験願」を指定の日時に教務学生課に提出してください。

このとき受験料として、1,000円が必要になります。

成績発表と同時に発表される「追・再試験時間割」の指示に従って、受験してください。

追試験は1回限りです。追試験に対する再試験はありません。したがって、追試験に不合格になった場合は、その科目の単位は不認定となります。

【再試験】

「再試験」とは、成績評価が不合格になった場合に行われる特別な「試験」です。筆記試験の他、レポートなどの適切な方法によって行う場合があります。成績評価が不合格の場合は、個人成績票に「不可」と表示されます。指定の日時に教務学生課へ「再試験願」を提出してください。

このとき受験料として、1,000円が必要になります。

成績発表と同時に発表される「追・再試験時間割」の指示に従って、受験してください。

再試験は1回限りです。再試験に不合格になった場合は、その科目の単位は不認定となります。

4 試験・追試験・再試験についての心得

- ・試験時間は60分です。
- ・試験場には、30分以上遅刻した場合は入室できません。
- ・試験場からは、45分経過しないと退室できません。
- ・試験場では、必ず机の上に学生証を提示しなければなりません。学生証を忘れた場合は、ただちに教務学生課で「受験資格確認票」の発行を受けてください。(後日、学生証を教務学生課に提示してください)。それ以外のものは、かばんに入れて机の下に置いてください。ただし、試験科目によっては授業担当者から許可されたものを持ち込んで参照してよい場合があります。授業担当者から事前に指示がありますので注意してください。
- ・試験場では、携帯電話等の通信機器は一切使用禁止です。電源を切ってかばんに入れ、机の下に置いてください。
- ・試験場で不正行為をした学生については、当該学期中における当該科目についての単位は一切認められません。
- ・試験監督の指示に従ってください。

5 成績について

- ・成績の発表は、「秀」・「優」・「良」・「可」・「不可」で行います。基準は下の表の通りです。

評価	判定
90点以上	秀
80点以上	優
70点以上	良
60点以上	可
59点以下	不可

- ・成績評価で不可になった科目は、再試験を受けることができます。
- ・再試験で合格になった場合は、全て「可」となります。
- ・追試験、再試験で不合格となった場合は、「不認定」となり、その科目の単位は修得できません。
- ・「不認定」となった科目は、再履修をするか、卒業後「科目等履修生」として履修することによって、再度受講することができます。
- ・発表された成績評価への疑問があるときは、成績発表後1週間以内に教務学生課に申し出てください。

授業の欠席は、原則として認められません。

(P.5も参照のこと)

6. GPA による評価と指導について

1 GPA による評価

「成績評価について」でも触れたように、各科目の成績は「秀」・「優」・「良」・「可」・「不可」で判定されます。これらの成績を総合的に評価する目的で、本学では2003年度入学生より GPA = グレードポイントアベレージ (成績評価係数) による学業評価システムを併用しています。

具体的には、それぞれの教科の評価に一定のポイントを設定し、不合格科目を含めて、履修科目の平均を算出します。GPA は次のように計算されます。

評 価	ポイント	判 定
90点以上	4	秀 (合格)
80点以上	3	優 (合格)
70点以上	2	良 (合格)
60点以上	1	可 (合格)
59点以下	0	不 可 (不合格)
(その授業を任意に放棄した)	0	不認定 (不合格)

このポイントは、試験及び追試験での成績によるもので、再試験によって合格した場合でもポイントは0である。

《GPA 算出方法》

$$\frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たポイント})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}} = \text{GPA 値}$$

2 GPA による表彰基準

・成績優秀奨学金 A :

この奨学金は、学期毎の学修状況及び成績を判断し、各学科の上位者に対し、翌期 (半期) の授業料の10%を授与するものです。このときの成績については GPA で判断します。

・成績優秀奨学金 B (校祖幸田たま賞) :

この奨学金は、卒業時に学修状況及び成績を判断し、納入済み授業料 (2年間) の10%を授与するものです。2年間の累積 GPA 値が3.50以上の者の中から選考します。

3 学内第一種奨学金 (授業料一部免除) の停止基準

学内第一種奨学金は、原則2年間対象ですが、学期 (前期、後期) ごとの GPA 値が2学期連続して2.70未満となった場合は、次の学期から授業料の一部免除が停止となります。学期 (前期、後期) ごとの GPA 値が1学期において2.70未満となった場合は、当該学生、保護者あてに文書で注意の通知をします。2学期連続して該当しないよう努力をしてください。

4 GPA による学修指導

学生の円滑な卒業及び免許・資格の単位修得のため、GPA 値の基準により以下の指導を行います。

- ・当学期の GPA 値が1.00未満の学生は学修の特別指導を行い、2学期連続して GPA 値が0.50未満の学生は退学勧告の指導を行う場合があります。

5 他の大学・短期大学等で履修した科目を本学履修単位として認定した場合の GPA の扱い

他の大学・短期大学等で履修した科目を、本学履修単位として認定した場合、当時の成績評価は本学の GPA には反映させません。(本学に再入学した場合も、以前に履修した科目については同様に扱います。)

*その他、学修成果の推移を見る基準として使用します。

6 GPA等による学外実習指導

(1) GPAが①の基準に該当する学生及びGPAの基準とは別に②、③、④、⑤に該当する学生は、学外実習の「養護実習」、「臨床実習」を履修することができません。

① 1年生前期終了時のGPA値が1.50未満の場合、及び1年生前・後期終了時の累積GPA値が2.00未満の場合のいずれかに該当した場合

(長期履修学生は、1年生前期から実習実施2期前までのいずれかの学期において、学期終了時のGPA値が1.50未満の学期がある場合、及び1年生前期から実習実施直前の学期終了時までの累積GPA値が2.00未満の場合のいずれかに該当した場合)

② 「養護学概論」が不認定となった場合

※加えて、「養護実習の研究」の履修も認めない。

③ 「養護学概論」、「教育学概論」、「教育課程論」、「教職論」、「学校保健」のうち、2科目以上が不可(再試験)となった場合

④ 「栄養学」、「解剖生理学Ⅰ」、「解剖生理学Ⅱ」、「小児保健」、「救急処置法」、「基礎看護学」、「看護学Ⅰ」、「看護学実習Ⅰ」のうち、2科目以上が不認定となった場合

⑤ 「養護実習の研究」の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合

(2) GPAが①の基準に該当する学生は、学外実習の「幼稚園教育実習」、「保育所実習」、「施設実習」、「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」の履修が延期となります。

また、GPAの基準とは別に②、③、④、⑤に該当する学生は、学外実習の「幼稚園教育実習」の履修が延期となり、⑥、⑦、⑧に該当する学生は、学外実習の「保育所実習」、「施設実習」、「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」の履修が延期となります。

① 1年生前期終了時のGPA値が1.20未満の場合、及び1年生前・後期終了時の累積GPA値が1.30未満の場合のいずれかに該当した場合

② 「幼稚園教育実習指導」が不認定となった場合

③ 「器楽Ⅰ」、「器楽Ⅱ」の2科目とも不認定となった場合

④ 幼稚園教諭二種免許状の必修科目のうち、5科目以上が不認定となった場合

⑤ 「幼稚園教育実習指導」の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合

⑥ 実習毎に設定した科目のいずれか1科目が不認定となった場合

保育所実習：「保育実習指導Ⅰ(保育所)」、「乳児保育Ⅰ」、「乳児保育Ⅱ」

施設実習：「保育実習指導Ⅰ(施設)」、「社会福祉」、「社会的養護Ⅰ」

⑦ 保育士資格の必修科目のうち、5科目以上が不認定となった場合

⑧ 各実習の指導科目〔「保育実習指導Ⅰ(保育所)」、「保育実習指導Ⅰ(施設)」、「保育実習指導Ⅱ」、「保育実習指導Ⅲ」〕の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合

※延期となった実習の扱い

延期となった実習はその後の履修状況等により、卒業までに履修できない場合があります。

7 GPA等による科目等履修生の履修指導

本学では、科目等履修生の受入れを実施しています。

(1) 人間生活学科では、卒業直後の年度における科目等履修生として、次のとおりとします。

① GPAが以下のいずれかの基準に該当する科目等履修生は、学外実習の「養護実習」及び「臨床実習」を履修することができません。

・ 2年生前期終了時及び2年生後期終了時のGPA値が2.00未満の場合

・ 卒業時の累積GPA値が2.00未満の場合

② 以下の基準に該当する科目等履修生は、学外実習の「養護実習」及び「臨床実習」を履修することができません。

・ 「養護実習の研究」、「養護実習」、「臨床実習」、「教職実践演習(養護教諭)」を除く養護教諭二種免許状の必修科目が取得できていない場合

(2) 幼児教育保育学科では、累積GPA値が1.30未満の学生について、卒業直後の年度における科目等履修生として、「幼稚園教育実習」、「幼稚園教育実習指導」、「保育実習」、「保育実習指導」の受講を認めていません。

7. 他学科の授業科目履修について（開放科目）

自分が所属する学科以外の学科で開講されている授業科目の中に、興味がありぜひ受講してみたい科目があったとき、その科目を履修できる制度（専門教育科目の合計30単位までで、卒業要件のための単位として算入できます。）があります。有意義な履修を計画してください。

1 開放科目とは

自分の所属以外の学科で開講されている授業科目は、希望すれば全てを履修できるわけではありません。他学科の学生にも受講を認めている科目を「開放科目」と呼びます。開放科目は、本書の各学科の「教育課程・開講予定」の表に示しています。

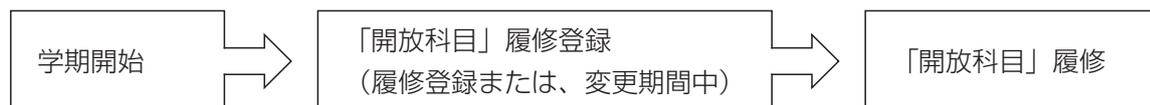
皆さんは、この「開放科目」の中から、時間割の上で受講が可能であるものに限って履修ができます。本書、『シラバス（授業計画）』をよく読んで興味のある科目を選択してください。

2 開放科目の履修登録

最も大切なのは、自分が所属する学科の授業科目です。所属する学科の開講科目の中から、卒業要件、希望する免許・資格に必要な科目を満たすように履修登録をしてください。

その上で、各学期の時間割を調べて、時間割の上で余裕のある時間に他の学科において開講されている「開放科目」を履修登録するようにしてください。開放科目の履修登録手続きは下のような日程となります。

ただし、授業科目が設定している履修条件に該当しない場合、その履修を認めないことがあります。



3 開放科目の試験について

所属する学科の試験日時と重なり、「開放科目」の試験が受験できない場合、「開放科目追試験」に必要な事項を記入して、試験開始1週間前から開始日までに教務学生課へ提出してください。追試験・再試験の日程での受験となり、受験の機会は1回限りとなります。（別途の受験料は不要です。）



人間生活学科



教育課程・開講予定

2023年度
人間生活学科

区分	学 科 目		方 法	単 位 数	開 放 科 目	登 録 科 目 記 録 欄	免許・資格必修										卒業に必要な単位*6	開講予定時期				備 考
	科 目 名	科目名					養護教諭二種免許状*1	食育インストラクター	情報処 理 士	上 級 秘 書 士 (メデイカル秘書)	医療管理秘書士	医師業務補助能 力 検 定 試 験 * 2 (下クタイズクランク)	ピアヘルパー*3	准 学 校 心 理 士 * 4	T F T パ ー ト ナ ー * 5	1 年		2 年				
																前 期		後 期	前 期	後 期		
教 養 教 育 科 目	2023101	茶道Ⅰ	演習	1												選択必修	○					
	2023102	茶道Ⅱ	演習	1														○				
	2023103	日本国憲法	講義	2			○											○				
	2023104	人間学入門	講義	2														○				開講せず
	2023105	キャリアデザインⅠ	演習	1						○							選択必修	○				
	2023106	キャリアデザインⅡ	演習	1						○							選択必修		○			
	2023107	キャリアデザインⅢ	演習	1																		開講せず
	2023108	コンピュータ基礎演習Ⅰ	演習	1			○		○	○	○							○				
	2023109	コンピュータ基礎演習Ⅱ	演習	1			○		○	○	○								○			
	2023110	英語コミュニケーションⅠ	演習	1			○											○				
	2023111	英語コミュニケーションⅡ	演習	1			○												○			
	2023112	体育実技	実習	1			○													○		
	2023113	体育講義	講義	2			○											○				
	2023114	データサイエンス入門	講義	2					○											○		
	2023115	基礎ゼミⅠ	講義	2													選択必修	○				
	2023116	基礎ゼミⅡ	講義	2													選択必修		○			
	小 計															12以上						
専 門 教 育 科 目	2023117	情報文化論	講義	2				○			▲									○		
	2023118	情報科学	講義	2				○	○		▲						○					
	2023119	コンピュータ応用演習Ⅰ	演習	1	○			○	○		▲									○		
	2023120	コンピュータ応用演習Ⅱ	演習	1	○			○	○		▲										○	
	2023121	高齢者の福祉	講義	2																		開講せず
	2023122	栄養学（食品学を含む）	講義	2	○		○	○										○				
	2023123	クッキングⅠ（家庭料理）	実習	1	○			○										○				
	2023124	クッキングⅡ（行事食）	実習	1	○			○											○			
	2023125	食品学実験（食品鑑別を含む）	実習	1	○			○													○	
	2023126	食品加工学（フードマーケティングを含む）	講義	2	○			○												○		
	2023127	食育実習	実習	1	○			○												○		
	2023128	食品衛生学	講義	2				○													○	
	2023129	調理学	講義	2	○			○											○			
	2023130	食育演習	演習	2				○													◎	
	2023131	食育総論	講義	2				○													○	
	2023132	精神保健	講義	2			○						△							○		
	2023133	ヘルスカウンセリング	講義	2			○						△							○		
	2023134	心理学基礎論	講義	2									△		▲			○				
	2023135	臨床心理学	講義	2									△		▲						○	
	2023136	発達心理学	講義	2									△	△					○			
	2023137	特別支援教育論	講義	2			○						△	△					○			
	2023138	衛生学（公衆衛生学・予防医学を含む）	講義	2	○		○		○		▲									○		
	2023139	薬理概論	講義	2			○		○	○	▲									○		
	2023140	学校保健	講義	2			○												○			
2023141	養護学概論	講義	2			○												○				
2023142	小児保健	講義	2	○		▲												○				
2023143	解剖生理学Ⅰ	講義	2	○		○		○	○	▲							○					
2023144	解剖生理学Ⅱ	講義	2	○		▲		○	○	▲								○				

コースと各種資格について

各自の目指す将来像にあった履修計画を立てましょう

人間生活学科では、多くの免許・資格を取得できるようになっています。自分の夢や将来にむけて、必要な免許・資格を選択しましょう。

人間生活学科は4つの特色ある専門分野から成り、それぞれを基礎から応用までしっかりと学びを深めることができるようにしています。この4つのコースは、同時に複数選択することができます。希望する免許・資格を中心に、コースや科目を組み合わせる選択し、自分に最もあった履修計画を立てましょう。

●学科の主な科目群

人間生活学科では、湊川短期大学生として備えてほしい教養のほか、生活者として健康に暮らすという視点を重視した科目を設定しています。

教養教育科目	湊川短期大学生として備えてほしい教養と専門教育科目を学ぶ基礎となる科目です。
専門教育科目	それぞれの専門分野を学ぶ科目です。 例えば、養護学概論 医療秘書概論 ヘルスカウンセリング 心理学基礎論 臨床心理学 栄養学（食品学を含む） 解剖生理学 看護学 など

☆各コースの開講科目については、入学オリエンテーションのときに詳しく説明します。

●養護教諭コース

保健室の先生を目指すコースです。

養護教諭の職務の他、子どもの生活面をケアのできるよう、身体や心、カウンセリングの基礎を学びます。
〔目指す免許・資格〕養護教諭二種免許状、社会福祉主事任用資格、准学校心理士

●医療秘書事務コンピュータコース

病院や診療所、介護施設の医療事務職や、一般事務職を目指すコースです。

医療機関での専門職につくために必要な、診療報酬請求事務や薬学や体の仕組みの基礎を学びます。一般的な事務技術も学びます。

〔目指す免許・資格〕診療報酬請求事務能力認定試験（医科）、医療管理秘書士、病歴記録管理士、医療情報事務士、医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク[®]）、医療事務技能審査試験（メディカルクラーク[®]）

●食育健康コース

食育インストラクターを目指すコースです。

様々な場面で食の大切さを伝える食育のスペシャリストを目指すコースです。食品関連企業や生活の中で役立つ食に関する知識と技術を学びます。

〔目指す免許・資格〕食育インストラクター

●心理デザインコース

心理学を学び応用することができるようになるコースです。

自分自身の生活と心の健康を理解し、心理学を応用した人生を豊かにするための基礎を学びます。カウンセリング技術や心理療法についても学びます。

〔目指す免許・資格〕TFT パートナー[®]、メンタルヘルスマネジメント[®]検定（Ⅲ種）、心理学検定、ピアヘルパー

★各資格において指定されている科目は、すべて履修・修得しなければいけません。

●その他の資格

コースにかかわらず、授業において取得することを推奨している資格です。別に定められた科目等の履修と資格試験に合格すること、もしくは、どちらかのみを満たすことにより取得することができます。

- ・事務系－マイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）、秘書検定、サービス接遇検定、情報処理士
- ・食育系－食生活アドバイザー検定、家庭料理技能検定
- ・医療事務系－レセプト点検実務士（1級、2級、3級）、上級秘書士（メディカル秘書）
- ・心理系－ピアヘルパー、心理学検定、TFT パートナー[®]、メンタルヘルスマネジメント検定（Ⅲ種）

主な免許・資格の種類と概要

養護教諭二種免許状：

養護教諭（保健室の先生）になるための教員免許です。公立学校の正規教員になるためには、教員採用試験を受験し、合格する必要があります。教員採用試験の可否に関わらず、臨時講師の登録は可能です。

社会福祉主事任用資格：

次に挙げる科目の中から3科目を履修し、単位を修得した学生が取得できます。福祉行政の仕事をするに当たって任用される資格です。

【人間生活学科開講科目】：精神保健、基礎看護学

教育学概論・教育方法学（いずれか1科目で教育学1科目とする）

【幼児教育保育学科開講科目】：社会福祉、子ども家庭福祉、保育原理

准学校心理士：

学校心理士に準ずる資格です。学校心理士とは学校等をフィールドとした心理教育的援助の専門家です。

准学校心理士を取得後、研修等を受講することによって、学校心理士を受験することができます。

診療報酬請求事務能力認定試験：

公益財団法人日本医療保険事務協会が実施する全国一斉統一試験です。

この試験に合格するためには、医療事務の実務に必要な専門性の高い知識とレセプト作成能力が必要となります。

医療管理秘書士、病歴記録管理士、医療情報事務士、医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク[®]）、

医療事務技能審査試験（メディカルクラーク[®]）：

一般財団法人日本病院管理教育協会および一般社団法人医療教育協会、一般財団法人日本医療教育財団が認定している医療事務資格です。医療事務とは医療分野において診察記録の管理、医療費の計算、患者様への対応などの事務を行います。

食育インストラクター：

食に関する専門知識を有し、日々の生活に活かし、広く推進・社会で活躍できる“食育”の指導者の証となる資格です。

食生活アドバイザー検定（3級・2級）

食生活について広く確かな知識を問う試験です。

家庭料理技能検定

栄養に係わる知識に関する内容と基本的な調理に関する技術力を問う試験です。

情報処理士

情報処理の基本的な実務能力を有することを示す資格です。

マイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）

Word や Excel、PowerPoint のスキルを証明できる資格です。

秘書検定

社会に出て働く際に備えておかなければならない、基本的な常識が出題される資格試験です。

サービス接遇検定

サービス業務に対する心構え、対応の技術などが出題される資格試験です。

上級秘書士（メディカル秘書）

一般財団法人全国大学実務教育協会が認定している資格です。秘書としての上級資格であるだけでなく、メディカル秘書として医療現場で活躍できる人材であることを示す資格です。

ピアヘルパー

心理面で手助けできる人です。コミュニケーションを通して一緒に心の問題を考えられる人に与えられる資格です。

心理学検定

一般社団法人日本心理学諸学会連合が行っている検定です。心理学の基礎力、実力を示すことができる資格です。

TFT パートナー[®]

一般社団法人日本 TFT 協会が認定している資格です。対人援助について職場で活躍できる人材であることを示す資格です。

メンタルヘルス・マネジメント[®]検定

大阪府商工会議所・施行商工会議所が主催する検定です。自らの不調にいち早く気づき、ケアできる人材であることを示す資格です。

人間生活学科

履修登録・成績発表・実習などのスケジュール

1 年	履修登録・成績発表など	実習など	資格試験・検定試験など
2023年4月	前期開始 4日 入学式 4-7日 入学オリエンテーション 履修登録		
5月			
6月			
7月			サービス接遇検定準1級（実技） 赤十字救急法基礎講習
8月	4日 前期成績発表 追・再試験願提出 8日～ 中旬 前期追・再試験		MOS 試験 赤十字救急法基礎講習
9月	21日 前期追・再試験成績発表 25日 後期開始 履修科目変更手続き		
10月			
11月			サービス接遇検定2級（学科）
12月			ピアヘルパー試験
2024年1月			
2月			レセプト点検実務士3級試験 秘書検定試験 MOS 試験
3月	4日 後期成績発表 追・再試験願提出 18日～ 後期追・再試験		

2 年	履修登録・成績発表など	実習・研修など	資格試験・検定試験など
2024年4月 上旬	前期開始 2年生オリエンテーション 1年後期最終成績発表 再履修・履修科目変更手続き		
5月		養護実習（3週間）	
6月			
7月			養護教諭教員採用試験 医療管理秘書士試験
8月 上旬	前期成績発表 追・再試験願提出 前期追・再試験	臨床実習（病院実習） （2週間）	MOS 試験 病歴記録管理士試験 レセプト点検実務士1級・2級試験
9月 中旬 下旬	前期追・再試験成績発表 後期開始 履修科目変更手続き （卒業単位に関わるもののみ）		
10月			医療情報事務士試験
11月			医師事務作業補助技能認定試験 （ドクターズクラーク [®] ） 食生活アドバイザー検定試験
12月			診療報酬請求事務士試験
2025年1月	卒業研究提出		医療事務技能審査試験 （メディカルクラーク [®] ） メンタルヘルス・マネジメント [®] 検定試験 食育インストラクター試験
2月 中旬 中・下旬	後期成績発表、卒業研究発表会 追・再試験願提出 後期追・再試験 後期追・再試験成績発表		
3月	学位記授与式		

試験日程はここにあげるもの以外の日も行われるものもある。
手続きの日程にも注意すること。

人間生活学科での履修において特に注意する点

履修、単位修得については、自己管理が原則です。時期を間違えると、手続きができなくなったり、履修ができなくなるなどで、単位を修得できないこともあります。本書を読んでもわからないことは、チューターに相談し、教務学生課に確かめながら、間違いなく卒業、免許・資格に必要な単位を修得できるようにしましょう。

1. 履修科目および免許・資格登録

- 「教育課程・開講予定」「コースと各種資格について」でよくチェック！
 - ・卒業に必要な単位数を2年間で修得できるよう、履修計画ができていますか。
 - ・希望する免許・資格に必要な履修計画ができていますか。
 - ・単位に少し余裕を持たせ、バランスよく履修できるよう、計画していますか。

2. 履修科目の変更

- 履修科目の確認は学期ごとに行われます。「履修登録・成績発表・実習・研修などのスケジュール」を参考にしてください。変更の時には、間違っても必要な科目の取り消しをしないように注意してください。また、履修登録していない科目は、授業に出席しても単位は認定されませんので注意してください。
- 履修科目の「追加・取り止め」は、各学期の定められた期日において可能です。

3. 希望する免許・資格の変更

- 1年生の4月末までに、免許・資格の取得希望を決定します。その後は、原則として希望をつけ加えることはできません。希望を取り下げの場合は、チューターとコース担当教員に相談した上で、教務学生課へ届け出てください。

4. 養護教諭二種免許状取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。
- 「養護実習」「臨床実習」：学外での養護教諭教育実習および病院における見学実習です。ガイダンスを受け、間違いのないよう特に注意してください。学外実習を実施するための条件（p12参照）を満たさない場合は、在学中での「養護実習」および「臨床実習」の履修ができなくなり、養護教諭二種免許状も取得できません。
- 准学校心理士は、養護教諭二種免許状取得者のうち、必要な科目の単位を全て修得、申請する必要があります。

5. 食育インストラクター取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。なおかつ、2年生後期に行われる「食育インストラクター資格認定試験」を受験し、合格しなければ資格を取得することはできません。

6. 情報処理士取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。

7. 上級秘書士（メディカル秘書）取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。

8. ピアヘルパー取得についての注意事項

- 対象となる科目の中から、3科目以上、6単位以上の単位を修得する必要があります。なおかつ、12月に行われる「ピアヘルパー資格認定試験」を受験し、合格しなければ資格を取得することはできません。適宜、試験対策講習を行いますので、必ず出席してください。
- 1年生の年度末で必要な科目の単位の修得の見込みがあれば、1年生でも「資格認定試験」を受けることができます。

9. 医療管理秘書士、病歴記録管理士、医療情報事務士、医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズクラーク[®]）、医療事務技能審査試験（メディカルクラーク[®]）取得についての注意事項

○必要な科目の単位をすべて修得し、なおかつ、各資格試験に合格することで取得できます。

○必要な科目の単位がすべて修得見込みとなった2年生において、資格試験を受験してください。適宜、定められた授業において試験の手続きや対策講習を行いますので、必ず出席してください。

〔診療実務士について〕

- ・医療管理秘書士の試験で、総合得点90%以上の場合は診療実務士1級を、80%以上の場合は同2級を、70%以上の場合は同3級を別に申請することができます。

〔医療事務技能審査試験（メディカルクラーク[®]）について〕

- ・資格試験を受験する場合は、次に示す科目の履修を推奨する。

衛生学（公衆衛生学・予防医学を含む）、薬理概論、解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学、医療秘書概論、秘書学概論、医療制度論、医療秘書事務Ⅰ・Ⅱ、医療情報学、総合的秘書実践実務Ⅰ・Ⅱ

10. TFT パートナー[®]取得についての注意事項

○必要な科目を履修する必要があります。



幼兒教育保育學科



教育課程・開講予定

2023年度
幼児教育保育学科

区分	学 科 目		方 法	単 位 数	開 放 科 目	登 録 科 目 記 録 欄	免許・資格必修					卒業に必要な単位数*6	開講予定時期				備 考	
							幼稚園教諭二種免許状*1	保 育 士*2	幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格*3	ピアヘルパー*4	准学校心理士*5		1 年		2 年			
	前 期	後 期											前 期	後 期				
教 養 教 育 科 目	2023301	茶道Ⅰ	演習	1							選択必修	○						
	2023302	茶道Ⅱ	演習	1									○					
	2023303	日本国憲法	講義	2			○						○					
	2023304	人間学入門	講義	2									○					開講せず
	2023305	キャリアデザインⅠ	演習	1								選択必修	○					
	2023306	キャリアデザインⅡ	演習	1										○				
	2023307	キャリアデザインⅢ	演習	1														開講せず
	2023308	コンピュータ基礎演習Ⅰ	演習	1			○						○					
	2023309	コンピュータ基礎演習Ⅱ	演習	1			○							○				
	2023310	英語コミュニケーションⅠ	演習	1			○						○					
	2023311	英語コミュニケーションⅡ	演習	1			○							○				
	2023312	体育実技	実習	1			○	○									○	
	2023313	体育講義	講義	2			○	○					○					
	2023314	データサイエンス入門	講義	2											○			
	2023315	基礎ゼミⅠ	講義	2									選択必修	○				
	2023316	基礎ゼミⅡ	講義	2									選択必修		○			
	小 計											12以上						
専 門 教 育 科 目	2023317	音楽基礎	演習	1									○					
	2023318	子どもと音楽表現	演習	1	○		○	○						○				
	2023319	器楽Ⅰ	演習	1			○	○					○					
	2023320	器楽Ⅱ	演習	1			○	○						○				
	2023321	器楽Ⅲ	演習	1			○	△							○			
	2023322	器楽Ⅳ	演習	1			▲	△								○		
	2023323	子どもと造形表現	演習	1	○		○	○						○				
	2023324	図画工作	演習	1				△							○			
	2023325	子どもと健康	演習	1			○	○						○				
	2023326	子どもの保健	講義	2				○					○					
	2023327	子どもの健康と安全	演習	1				○						○				
	2023328	子どもの食と栄養	演習	2				○							○			
	2023329	子どもと環境	演習	2	○		○	△						○				
	2023330	子どもと言葉	演習	1	○		○	○							○			
	2023331	社会福祉	講義	2	○			○					○					
	2023332	子育て支援	演習	1	○			○								○		
	2023333	子ども家庭福祉	講義	2	○			○						○				
	2023334	子ども家庭支援論	講義	2	○			○							○			
	2023335	保育者論	講義	2			○	○					○					
	2023336	教育原理	講義	2			○	○						○				
	2023337	教育方法基礎論	講義	2			○	△								○		
	2023338	保育原理	講義	2	○			○					○					
	2023339	社会的養護Ⅰ	講義	2	○			○					○					
	2023340	保育の心理学	講義	2			○	○						○				
2023341	子ども家庭支援の心理学	講義	2	○			○								○			
2023342	子ども理解	演習	1	○		○	○						○					
2023343	教育相談基礎論	講義	2	○		○	△							○				
2023344	幼児教育・保育課程論	講義	2			○	○								○			

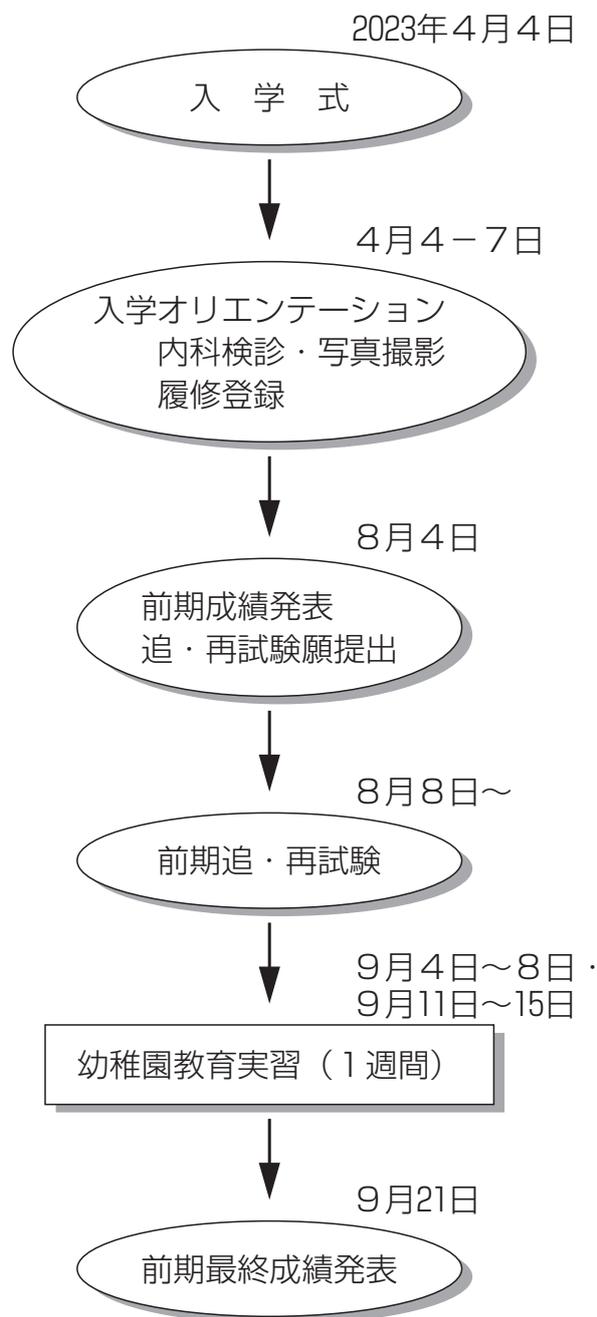
区 分	学 科 目		方 法	単 位 数	開 放 科 目	登 録 科 目 記 録 欄	免許・資格必修					卒 業 に 必 要 な 単 位 * 6	開講予定時期				備 考	
	科 目 名						幼 稚 園 教 諭 二 種 免 許 状 * 1	保 育 士 * 2	幼 稚 園・ 保 育 園 の た め の リ ト ミ ッ ク 指 導 資 格 2 級 * 3	ピ ア ヘ ル パ ー * 4	准 学 校 心 理 士 * 5		1 年		2 年			
													前 期	後 期	前 期	後 期		
専 門 教 育 科 目	2023345	保育内容総論	演習	1			○	○					○					
	2023346	社会的養護Ⅱ	演習	1	○			○						○				
	2023347	ライフストーリーワーク基礎演習	演習	1				△										開講せず
	2023348	保育内容健康	演習	1			○	○								○		
	2023349	保育内容人間関係	演習	1			○	○		△						○		
	2023350	保育内容環境	演習	1			○	○					○					
	2023351	保育内容言葉	演習	1			○	○						○				
	2023352	保育内容表現（リズム）	演習	1			○	○					○					
	2023353	保育内容表現（絵画）	演習	1	○		○	○								○		
	2023354	保育内容表現演習	演習	1	○			△									○	
	2023355	特別支援保育	演習	2			○	○			△					○		
	2023356	乳児保育Ⅰ	講義	2				○								○		
	2023357	乳児保育Ⅱ	演習	1				○									○	
	2023358	リトミック	演習	1					△	○						○		
	2023359	幼稚園教育実習指導	実習	1			○						○		○			
	2023360	幼稚園教育実習	実習	4			○						*		*			
	2023361	保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習	1				○						○	○			
	2023362	保育実習指導Ⅰ（施設）	演習	1				○						○	○			
	2023363	保育所実習	実習	2				○								*		
	2023364	施設実習	実習	2				○						*				
	2023365	保育実習指導Ⅱ	演習	1											○	○		
	2023366	保育実習Ⅱ	実習	2													*	
	2023367	保育実習指導Ⅲ	演習	1				○							○	○		
	2023368	保育実習Ⅲ	実習	2													*	
	2023369	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2			○	○									○	
	2023370	生活福祉基礎演習	演習	1					△					○				
	2023371	生活福祉実践演習	演習	1					△									開講せず
	2023372	保育入門	講義	2									○	○				
2023373	ピアノ入門	演習	1									○	○					
2023374	専門ゼミ	演習	2									2			○	○		
	小 計											42以上						
	合 計											62以上						

- * 1 「幼稚園教諭二種免許状必修」欄の▲を付した科目は、履修することが義務づけられる。（単位修得は免許取得要件とはならない。）
 - * 2 「保育士必修」欄の△を付した科目は、この中から6単位以上履修しなければならない。
 - * 3 「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級必修」欄の科目を履修し、資格認定試験に合格しなければならない。
 - * 4 「ピアヘルパー必修」欄に△を付した科目から3科目以上、6単位以上を履修することが資格認定試験の受験資格となる。
 - * 5 「准学校心理士」欄に△を付した科目から3科目以上、6単位以上を履修し、幼稚園教諭二種免許状又は保育士資格を取得しなければならない。
 - * 6 「卒業に必要な単位」欄にある「選択必修」とは、履修することを義務づける科目である。（単位修得は卒業要件とはならない。）
- （注）ピアヘルパーを取得するものは、協会が行う資格認定試験に合格しなければならない。

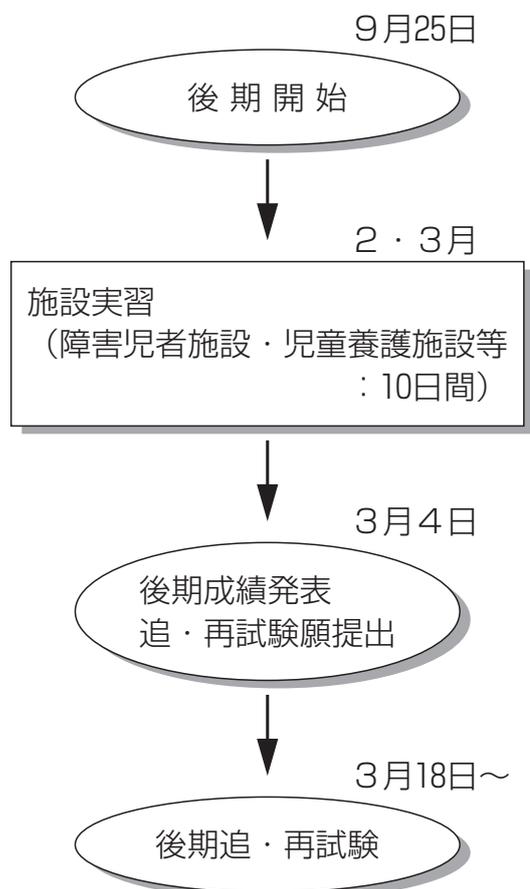
幼児教育保育学科

履修登録・成績発表・実習などのスケジュール

1年前期 (2023年4月 - 9月24日)

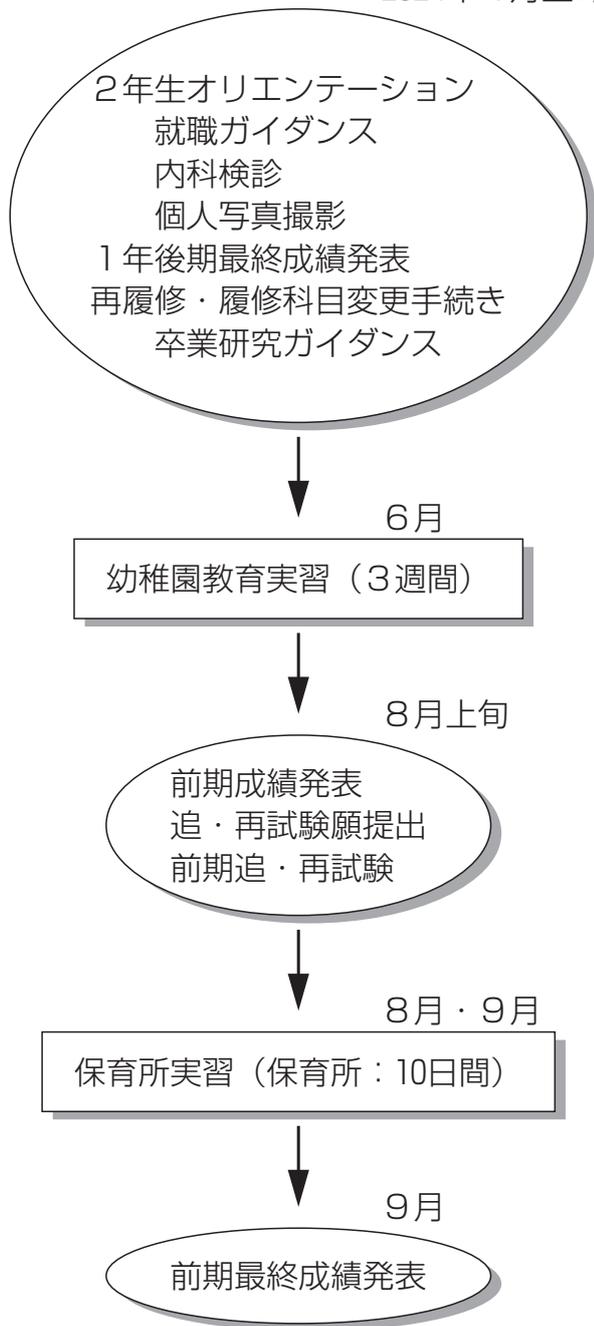


1年後期 (2023年9月25日 - 2024年3月)



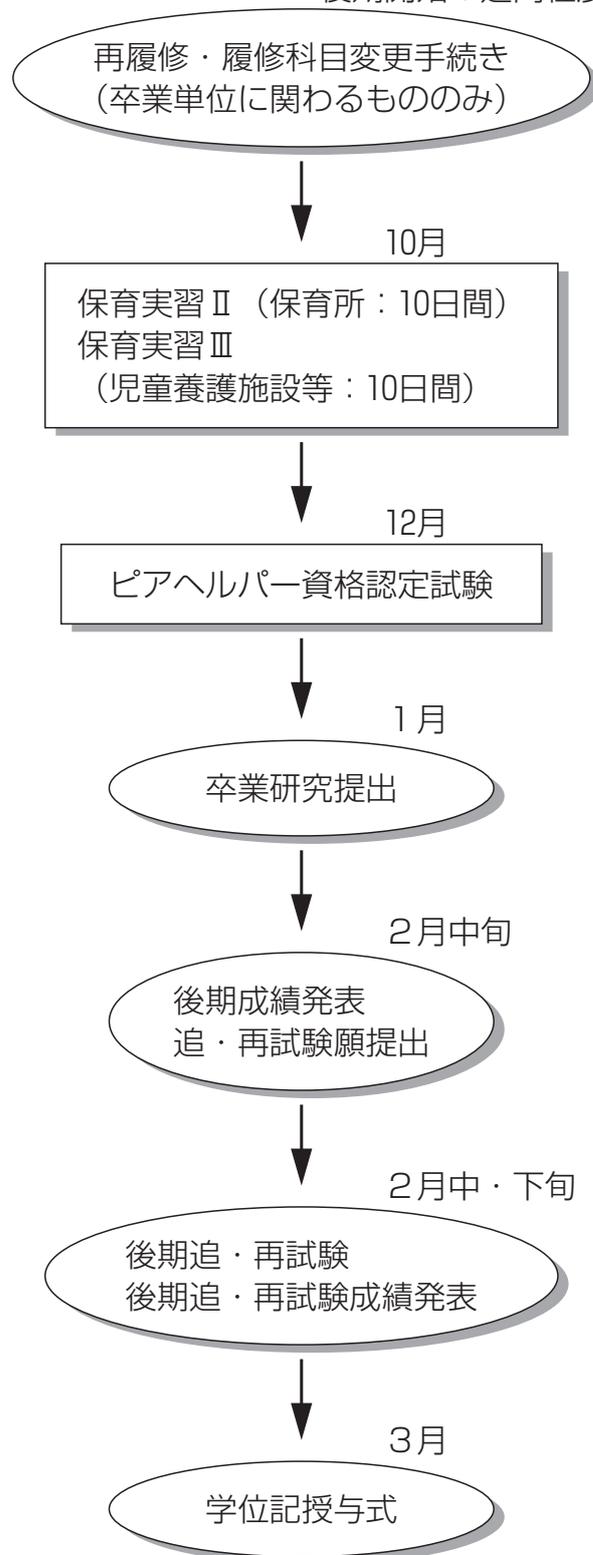
2年前期 (2024年4月-9月)

2024年4月上旬



2年後期 (2024年10月-2025年3月)

後期開始1週間程度



幼児教育保育学科での履修において特に注意する点

履修、単位修得については、自己管理が原則です。時期を間違えると、手続きができなくなったり、履修ができなくなるなどで、単位を修得できないこともあります。本書を読んでもわからないことは、チューターに相談し、教務学生課に確かめながら、間違いなく卒業、免許・資格に必要な単位を修得できるようにしましょう。

1. 履修科目および免許・資格登録

- 「教育課程・開講予定」でよくチェック！
 - ・卒業に必要な単位を登録していますか。
 - ・希望する免許・資格に必要な単位を登録していますか。
 - ・少し、単位に余裕を持たせて開講時期にバランスよく登録していますか。

2. 履修科目の変更

- 履修科目の変更は、学期ごとの履修科目変更期間に変更できます。変更の時には、間違っても必要な科目の取り消しをしないように注意してください。また、履修登録していない科目は、授業に出席しても単位は認定されませんので注意してください。
- 履修科目の「追加・取り止め」は、各学期の定められた期日において可能です。

3. 希望する免許・資格の変更

- 原則として希望をつけ加えることはできません。希望を取り下げる場合は、チューターに相談した上で、教務学生課へ届け出てください。

4. 幼稚園教諭二種免許状取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。
- 「幼稚園教育実習」：学外での幼稚園教育実習です。以下に該当する場合は、「幼稚園教育実習」の履修が延期となります。
 - ・「幼稚園教育実習指導」が不認定となった場合
 - ・「器楽Ⅰ」、「器楽Ⅱ」の2科目とも不認定となった場合
 - ・幼稚園教諭二種免許状の必修科目のうち、5科目以上が不認定となった場合
 - ・「幼稚園教育実習指導」の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合
 - ・1年生前期終了時のGPA値が1.20未満の場合、及び1年生前・後期終了時の累積GPA値が1.30未満の場合のいずれかに該当した場合

※延期となった実習の扱い

延期となった実習はその後の履修状況等により、卒業までに実施できない場合があります。

5. 保育士資格取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。
 - 以下に該当する場合は、「保育所実習」、「施設実習」、「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」の履修が延期となります。
 - ・実習毎に設定した科目のいずれか1科目が不認定となった場合
保育所実習：「保育実習指導Ⅰ（保育所）」、「乳児保育Ⅰ」、「乳児保育Ⅱ」
施設実習：「保育実習指導Ⅰ（施設）」、「社会福祉」、「社会的養護Ⅰ」
 - ・保育士資格の必修科目のうち、5科目以上が不認定となった場合
 - ・各実習の指導科目〔「保育実習指導Ⅰ（保育所）」、「保育実習指導Ⅰ（施設）」、「保育実習指導Ⅱ」、「保育実習指導Ⅲ」〕の欠席時数が開講時数の5分の1を超えた場合
 - ・1年生前期終了時のGPA値が1.20未満の場合、及び1年生前・後期終了時の累積GPA値が1.30未満の場合のいずれかに該当した場合
- ※延期となった実習の扱い
延期となった実習はその後の履修状況等により、卒業までに実施できない場合があります。

6. 幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格2級取得についての注意事項

- 「リトミック」の単位を修得する必要があります。
- 「資格認定試験」を受験し、合格しなければ資格を取得することはできません。
- 「リトミック」の履修には、「器楽」を併修していることが前提となります。

7. ピアヘルパー取得についての注意事項

- 対象となる科目の中から、3科目以上、6単位以上の単位を修得する必要があります。
- 12月に行われる「ピアヘルパー資格認定試験」を受験し、合格しなければ資格を取得することはできません。
適宜、試験対策講習を行いますので、必ず出席してください。
- 1年生の年度末で必要な科目の単位の修得の見込みがあれば、1年生でも「資格認定試験」を受けることができます。

8. 准学校心理士について

- 学校心理士に準ずる資格です。学校心理士とは学校等をフィールドとした心理教育的援助の専門家です。
- 取得のためには、幼稚園教諭二種免許状又は保育士を取得した上で、必要な科目を修得し申請する必要があります。
- 准学校心理士を取得後、研修等を受講することによって学校心理士を受験することができます。

專 攻 科 健康教育專攻

教育課程・開講予定

2023年度

専攻科 健康教育専攻

区分	学 科 目		方 法	単 位 数	登 録 科 目 記 録 欄	修 了 必 修	免許・資格必修		開講予定時期				備 考
	科 目 名	科目番号					養護教諭一種免許状※1	カウンセリング実務士※2	1 年		2 年		
									前 期	後 期	前 期	後 期	
専 門 教 育 科 目		2023601	英語講読	演習	2						○		
		2023602	生活環境論	講義	2	2			○				
	養護に関する科目	2023603	栄養学特論（食品学を含む）	講義	2		☆		○				
		2023604	特別食実践演習	演習	2				○				
	養護に関する科目	2023605	衛生学特論（公衆衛生・予防医学を含む）	講義	2		★		○				
		2023606	健康教育	講義	2						○		
		2023607	健康科学	講義	2				○				
	養護に関する科目	2023608	学校保健特論	講義	2		★		○				
		2023609	養護教育実践研究	講義	2	2	★					○	
		2023610	保健実践学習Ⅰ	演習	2	2						○	
		2023611	保健実践学習Ⅱ	演習	2				○				
		2023612	保健実践学習Ⅲ	演習	2					○			
		2023613	保健実践研究	演習	2							○	
		2023614	看護特別演習	演習	2						○		
	教育の基礎的理解に関する科目	2023615	発達心理学演習	演習	2		■		□			○	
		2023616	特別支援教育特論	講義	2				□		○		
		2023617	教育課程研究	演習	2	2	★						○
		2023620	教育環境学	講義	2					○			
	道徳・総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	2023618	教育方法研究	演習	2					○			
		2023619	保健指導演習	演習	2		▲			○			
		2023621	生徒指導論	講義	2				□	○			
		2023622	保育・教育相談演習	演習	2		★		□				○
	教育実践に関する科目	2023623	養護特別実習指導	実習	1		★				○		※3
		2023624	養護特別実習	実習	2		★					*	※3
		2023625	健康教育研究演習	演習	4	4				○	○		
		2023626	健康教育修了研究	演習	6	6						○	○
		2023627	臨床心理学研究Ⅰ	講義	2	2		■				○	
		2023628	臨床心理学研究Ⅱ	講義	2			■					○
		2023629	カウンセリング実務演習Ⅰ	演習	2			■		○			
		2023630	カウンセリング実務演習Ⅱ	演習	2			■			○		
合 計				65		62以上							

※1. 養護教諭一種免許状の必修科目（★）、選択必修科目（■の科目から1科目、▲の科目から1科目）以外に、■、▲、☆の科目から3単位以上が必要である。

※2. カウンセリング実務士資格取得のためには、必修科目の履修及び選択科目のうち4科目以上16単位以上の履修が必要である。（選択科目は、短期大学本科において開講されているものを含み、短期大学在学中に修得した単位を含めることができる）。

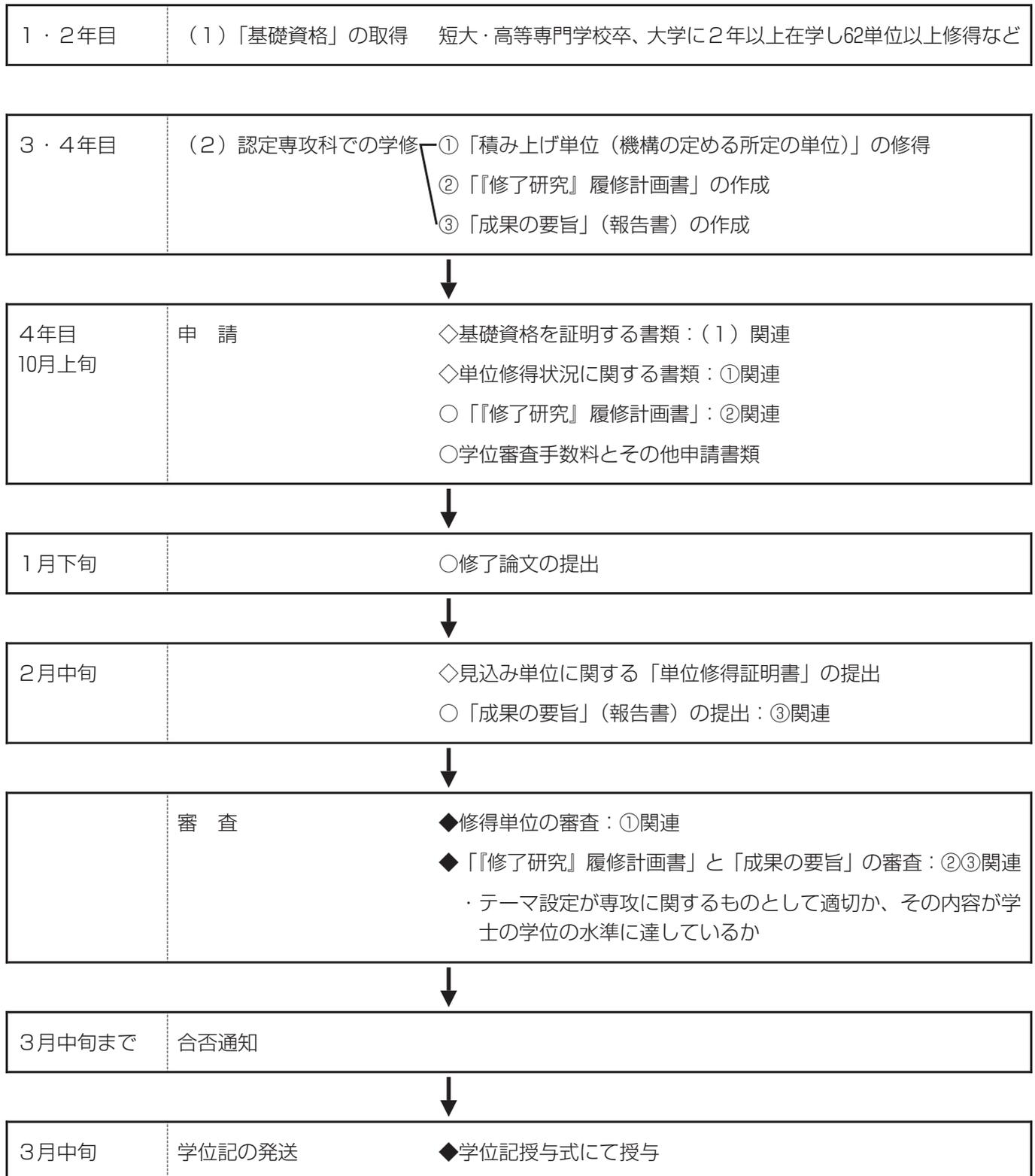
■カウンセリング実務士必修

□カウンセリング実務士選択（短期大学本科で開講されている、カウンセリング実務士選択科目については、p.37を参照。）

※3. 養護特別実習指導及び養護特別実習の履修は、養護教諭二種免許取得者に限る。

学位記を手にするまでのスケジュール（特例による学位授与申請）

「学位記」が本人の手元に届くまで（学士の学位授与の流れ）



専攻科 健康教育専攻での履修において特に注意する点

履修、単位修得については、自己管理が原則です。時期を間違えると、手続きができなくなったり、履修ができなくなるなどで、単位を修得できないこともあります。本書を読んでもわからないことは、チューターに相談し、教務学生課に確かめながら、間違いなく修了できるようにしましょう。また、免許・資格に必要な単位についても修得できるようにしましょう。その上で、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格して、学士の学位を取得できるようにしましょう。

1. 履修科目および免許・資格登録

- 「教育課程・開講予定」でよくチェック！
 - ・修了に必要な単位を登録していますか。
 - ・希望する免許・資格に必要な単位を登録していますか。

2. 履修科目の変更

- 履修科目の変更は、学期ごとの履修科目変更期間に変更できます。変更の時には、間違っても必要な科目の取り消しをしないように注意してください。また、履修登録していない科目は、授業に出席しても単位は認定されませんので注意してください。
- 履修科目の取り下げは、各学期の定められた期日において可能です。

3. 希望する免許・資格の変更

- 原則として希望をつけ加えることはできません。希望を取り下げの場合は、チューターに相談した上で、教務学生課へ届け出てください。

4. 学士の学位取得についての注意事項

- 学士の学位取得には、専攻科を修了した上で、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格する必要があります。

5. 養護教諭一種免許状取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。
- 学士の学位を取得する必要があります。

6. カウンセリング実務士取得についての注意事項

- カウンセリング実務士必修科目8単位に加え、カウンセリング実務士選択科目の中から4科目以上16単位以上を修得する必要があります。選択科目は、本科の学科においても開設されています。

カウンセリング実務士科目について

- ・ カウンセリング実務士の資格を取得しようとする者は、本科の学科及び専攻科において、次に示す必修科目及び選択科目を併せて24単位以上を修得しなければならない。
- ・ 学長が認めた場合は、選択科目について、他の大学・短期大学で履修した科目単位をもって、当該認定課程の履修とみなすことができる。

カウンセリング実務士必修科目（4科目8単位）

開講学科：専攻科 健康教育専攻

科 目 名	方 法	単位数
臨床心理学研究Ⅰ	講 義	2
臨床心理学研究Ⅱ	講 義	2
カウンセリング実務演習Ⅰ	演 習	2
カウンセリング実務演習Ⅱ	演 習	2

カウンセリング実務士選択科目（4科目以上、16単位以上）

開講学科：専攻科 健康教育専攻

科 目 名	方 法	単位数
発達心理学演習	演 習	2
特別支援教育特論	講 義	2
生徒指導論	講 義	2
保育・教育相談演習	演 習	2

開講学科：人間生活学科

科 目 名	方 法	単位数
精神保健	講 義	2
ヘルスカウンセリング	講 義	2
心理学基礎論	講 義	2
臨床心理学	講 義	2
発達心理学	講 義	2
特別支援教育論	講 義	2
教育心理学	講 義	2
教育相談論（生徒指導を含む）	講 義	2

専攻科 生活福祉専攻

教育課程・開講予定

2023年度

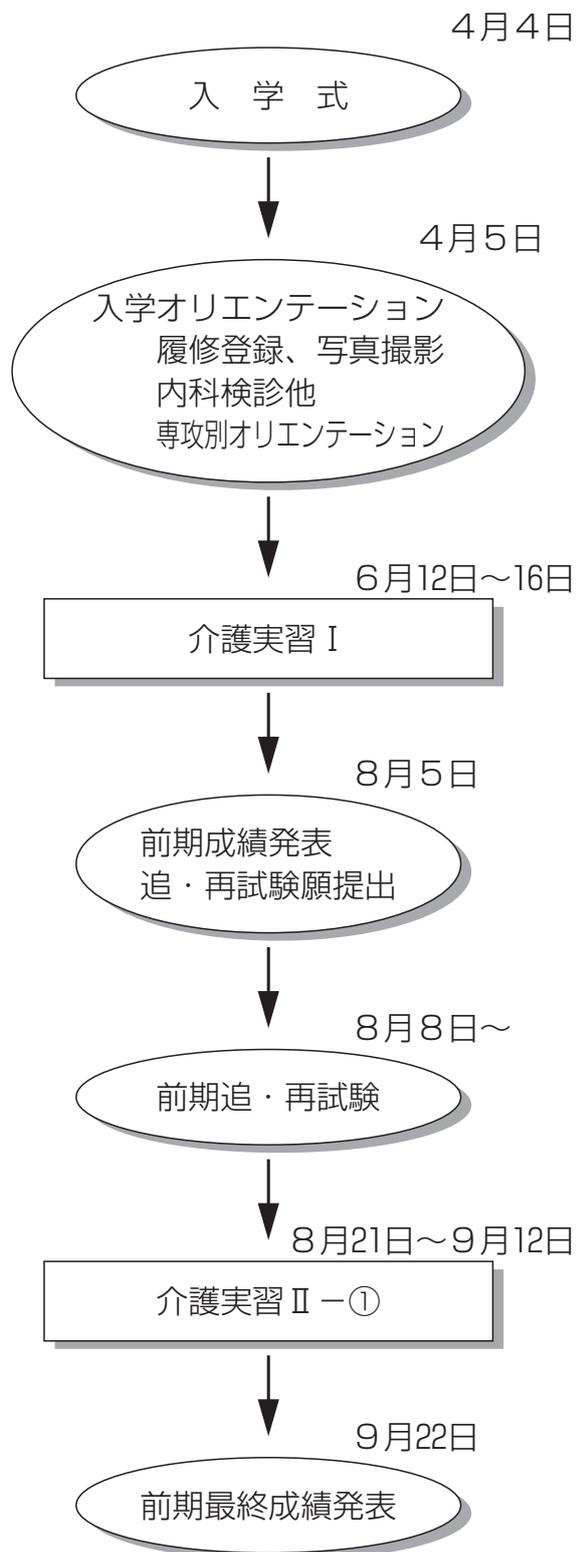
専攻科 生活福祉専攻

区分	学 科 目		方 法	単 位 数	登 録 科 目 記 録 欄	修了必修		開講予定時期		備 考
	科 目 名					国 家 試 験 受 験 資 格	介 護 福 祉 士	前 期	後 期	
専 門 教 育 科 目	2023501	社会保障	講義	2		○	○			
	2023502	介護の基本Ⅰ	講義	2		○	○			
	2023503	介護の基本Ⅱ	講義	2		○	○			
	2023504	介護の基本Ⅲ	講義	2		○	○			
	2023505	介護の基本Ⅳ	講義	2		○	○			
	2023506	介護の基本Ⅴ	講義	2		○		○		
	2023507	介護の基本Ⅵ	講義	2		○		○		
	2023508	コミュニケーション技術Ⅰ	演習	1		○	○			
	2023509	コミュニケーション技術Ⅱ	演習	1		○		○		
	2023510	生活支援技術Ⅰ	演習	1		○	○			
	2023511	生活支援技術Ⅱ	演習	1		○	○			
	2023512	生活支援技術Ⅲ	演習	1		○	○			
	2023513	生活支援技術Ⅳ	演習	1		○	○			
	2023514	生活支援技術Ⅴ	演習	1		○	○			
	2023515	生活支援技術Ⅵ	演習	1		○		○		
	2023516	生活支援技術Ⅶ	演習	1		○		○		
	2023517	生活支援技術Ⅷ	演習	1		○		○		
	2023518	生活支援技術Ⅸ	演習	1		○		○		
	2023519	生活支援技術Ⅹ	演習	1		○	○			
	2023520	介護過程Ⅰ	講義	2		○	○			
	2023521	介護過程Ⅱ	講義	2		○	○			
	2023522	介護過程Ⅲ	講義	2		○	○			
	2023523	介護過程Ⅳ	講義	2		○		○		
	2023524	介護過程Ⅴ	講義	2		○		○		
	2023525	発達と老化の理解	講義	2		○		○		
	2023526	認知症の理解Ⅰ	講義	2		○	○			
	2023527	認知症の理解Ⅱ	講義	2		○		○		
	2023528	障害の理解	講義	2		○		○		
	2023529	こころとからだⅠ	講義	2		○	○			
	2023530	こころとからだⅡ	講義	2		○		○		
	2023531	医療的ケアⅠ	講義	2		○	○			
	2023532	医療的ケアⅡ	講義	2		○		○		
	2023533	医療的ケアⅢ	講義	2		○		○		
	2023534	介護実習指導Ⅰ	演習	1		○	○			
	2023535	介護実習指導Ⅱ	演習	1		○		○		
	2023536	介護実習	実習	5		○	*	*		
合 計				61						

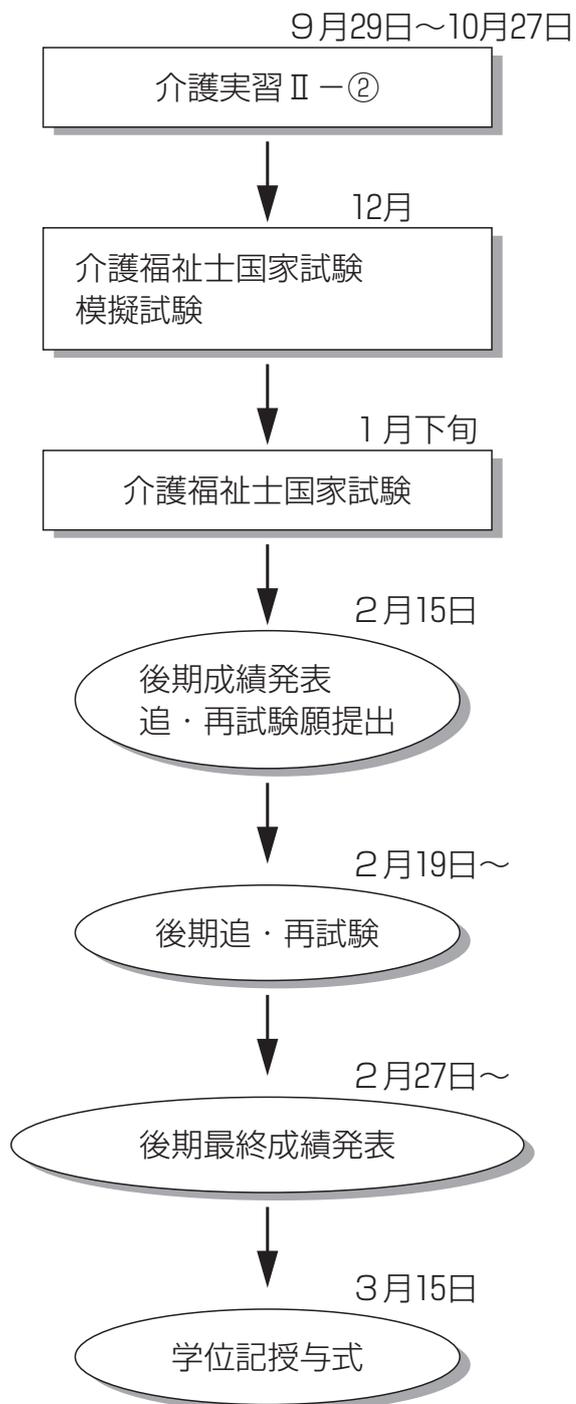
専攻科 生活福祉専攻

履修登録・成績発表・実習などのスケジュール

前期 (2023年4月 - 9月25日)



後期 (2023年9月26日 - 2024年3月)



専攻科 生活福祉専攻での履修において特に注意する点

履修、単位修得については、自己管理が原則です。時期を間違えると、手続きができなくなったり、履修ができなくなるなどで、単位を修得できないこともあります。本書を読んでもわからないことは、チューターに相談し、教務学生課に確かめながら、間違いなく修了・資格に必要な単位を修得できるようにしましょう。

生活福祉専攻は介護福祉士資格の取得をめざすコースです。

1. 履修科目および免許・資格登録

- 「教育課程・開講予定」を見て、以下の項目をよくチェックしてください。
 - ・希望する資格を取得するのに必要な単位を登録していますか。

2. 履修科目の変更

- 履修科目の変更は、学期ごとの履修科目変更期間に変更できます。変更の時には、間違っても必要な科目の取り消しをしないように注意してください。また、履修登録していない科目は、授業に出席しても単位は認定されませんので注意してください。
- 履修科目の「追加・取り止め」は、各学期の定められた期日において可能です。

3. 希望する資格の変更

- 原則として希望をつけ加えることはできません。
- 希望する資格を変更する場合は、チューターに相談した上で、教務学生課へ届け出てください。

4. 介護福祉士国家試験受験資格取得についての注意事項

- 必要な科目の単位を全て修得する必要があります。

2023年度
履修ガイド

〒669-1342 湊川短期大学
三田市四ツ辻1430
TEL 079-568-1858

